

七友会だより

同窓会にできること



七友会会長

佐原 和典

あちらこちらから冬のたよりが聞かれ、岩手地もすっかり秋らしくなった今日このごろ、会員みなさんはいかがお暮しでしょうか。

七年ぶりに、久々に会報を発行することができ、本当に喜んでいきます。毎年、会報を出すことを考えて予算も立てているのですが、いかんせん、専門に動ける人がいなかったのです。私をはじめ、みな仕事の合い間の手伝いでしたから、それは大変でした。「十周年記念名簿」の発行を期に、思い切ってはじめて、会員データのパソコン管理の作業のおかげで、以前よりは人が集まるようになり、少しずつ、活動内容を広げてきました。昨年度は、学部側の要望を受ける形で、「在校生との交流会」を兼ねた同窓会の親睦会を東京と盛岡で

開催しました。三年生を中心に参加した在校生にはいい刺激に、同窓生にはなつかしい話と仕事への励みとなり、大いに盛り上がりました。この会は今年度も開くことになり、日程等も会報に載っていますので御覧下さい。

こうした活動のかけには、会社の理解の下、勤務先を様々な連絡先にしていただいている、七友会事務担当の泉澤真結子さん(MEL)や、関東支部事務局をかって出してくれた山口毅さん(池袋法務事務所)、七友会ネットを開設してくれた菊地良一さん(三期生)らの協力があることを会員みなさんにお知らせしておきます。

さて、少しずつ同窓会の活動が広がってきますと、私たちにいったい何ができるのか、考えてみる必要があると思います。関東支部では昨年の交流会開催後、同窓生同士の異業種交流の試みが進み、様々な職種の方が集まって何かをはじめようとしています。こうした動きは、また、在校生への「職選び」への刺激や手助けとなってはねかえってきますし、ひいては学部への志望者増へとも続くのではないかと考えています。同窓生も少なく

題字 大畑 莊一氏

平成8年10月25日発行

岩手大学
人文社会科学部同窓会

第 11 号

経済的に恵まれているわけでもないのですが、就職先が多岐にわたっているのは他の学部にも負けないと思っていますので、同窓会のあり方や何ができるのか、機知に富んだみなさんの意見をお寄せいただければ幸いです。

最後に、東京と盛岡で開かれる親睦会への多数の参加をお願いするとともに、超氷河期といわれている学生の就職活動への一助として、仕事の様子や会社の状況など様々な情報をお寄せいただきたいと思います。就職は本来、自分で切り拓いていくものですが、後輩諸君のために御協力お願いいたします。

・七友会事務連絡先

〒〇二〇 盛岡市盛岡駅前通十一十四

フラワービル三F

(株)MEL 泉澤 宛

☎〇一九(六二六)二二九〇

☎〇一九(六二九)二六六五

目次

同窓会にできること	1
会員からのメッセージ	2~4
評議員会報告	5
平成七年度決算書	6
平成八年度予算書	7
親睦会開催について	8
七友会ネット開設にあたって	8

《 会員からの メッセージ 》

異業種交流をめざして

池袋法務事務所

司法書士 山口 毅 (三期生)

七友会のみなさんお元気ですか、関東支部の事務局をやっています三回生欧米思想史専攻の山口です。今回は、近況報告ならびに、岩大在校生へのメッセージというテーマでお話します。

近況報告

去年の十一月に関東支部で関東一円の同窓生を中心に、宴会をしました。一回生から十数回生まで、みんながお互いの顔を見知っているわけではないのですが(中には頭だけ薄くなって顔は在学中と同じままの方も多々いらっしゃいました)、在校生、大学の教授等も交えてなかなか盛況だったと思います。この会は毎年おこなっていききたいなと思っておりますので、みなさん奮ってご参加ください。

今回、この会のなかで、同じ豊島区で事務所を構えていらっしゃる富田税理士(二回生)と知り合う機会を得、これをきっかけに前から温めていた士業の異業種交流の話がとんとん拍子に進んでいます。わたしの個人的な近況というと、このローファームを組織するために日々忙しくしてい

るということでしょうか。

在学生へ向けて

自分自身のことを思えばいえた義理ではないのですが、大学で研究することの意味をもう一度考えてみてもいいのではないのでしょうか。先日東京のある私立大学の四年生の方が相談にいらしたのですが(内容は、企業の内定はもらったがあまりぴんとこない。司法書士・弁護士などの資格を取ることも考えてみたいので、司法書士業について教えて下さいとのことでした)その方の話を聞いていても、在学中に就職というものをあまり意識せず過ごされているという印象を受けました。日本の社会・教育制度があまり学生にそのようなものを意識させないものになっている(教育は社会から一種隔絶したところにおかれている)ので、それは学生の罪ではないのですが、学生の側はそういうものだということを前提に、社会に出ていく(このことは自分が大学と社会が隔絶していることを示している)ために、在学中何をしなければならぬかを考えてみる必要があると思われまします。方法論は色々あるでしょうが、要は「感動」を探すことです。それは言い換えれば「喜び」です。つまり、社会のなかで、自分が何をもって「感動」「喜ぶ」ことができるのか、それを考えることでしょう。実をいうとこの「感動」は、本を読んで見付けることができるものではありません。また、見付ける時期もできればもっと早い時期(大学に入る前)のほうがベターであったことは確か

です。しかし、そんなことをいままら言ってもしょうがありません。今からでも「感動」を見付けるために行動しましょう。そして、その「感動」を見付けたら、その職業につくために自分が今できることを考え、実行していくことです。

「感動」を見付けるための方法論は色々ありますが、一つだけ参考にお話しておきますと、皆さんが興味がある職業に実際就いていらっしゃる方に「感動」を尋ねてみるのです。一般的に三年から四年にかけてOB訪問なるものがされますが、それでは遅すぎます。もっと早めに「感動」を見付けるために行動しましょう。OB訪問をコネクションをつけるためと考えずに、もっと実質的な聞き取り調査くらいに考えて積極的に行なってください。

最後に

七友会の皆さんへのお願いです。わたしもそうだったのですが、大学卒業後しばらくは、自分の面倒を見るのに汲々として、なかなかそれ以外のことに力を割ることができない方が多いと思います。しかし、一回生から数えて十数年、お世話になった大学・およびその卒業生が他の大学に負けない活躍ができるようお互いに協力しあおうではありませんか。特別なことをする必要はありません。たまに開かれる会合に出席したり、住所が変更になったら同窓会本部、またはその支部にお知らせいただくとか、在校生から話がききたいとの連絡があったら、話をしてやるとか。自分一人く

らしいなくても大勢に影響がないだろうなどということがないように、日々できることからやっていきませんか。関東支部の事務局はわたしの事務所になっていきますのでご意見ご要望何でも結構です、ご連絡ください。

連絡先

〒一七一 豊島区西池袋五十一七十一

ルート西池袋ビル七F

池袋法務事務所

司法書士 山口 毅

☎ ○三(三九八七) 一一七四

☎ ○三(三九八七) 一一五七

損害保険業界

先輩から一言

大東京火災海上保険(株)

市川支店長 石 若 利 幸 (二期生)

私が入社した昭和五十六年と最近の損保業界とは、この十五年間に大きな変貌を遂げてきた。単なる保険業界から金融業界の一つとして、総合的な役割が求められてきている。今年は、特に国際化、自由化、規制緩和により、生損保の兼営、料率の自由化等、激変の時代を迎えている。今までは、同業者間の競争の時代であったが、これからは、生保業界、銀行業界、流通業界、外資系損保

との生き残りを賭けた戦争の時代である。競争は勝っても負けても順位をつけるだけであるが、戦争は生きるか死ぬかである。

これから就職を目指す諸君に言える事は、損保業界に、スマートなイメージを持たない事だ。採用試験の面接で求められる学生のイメージは、タフな精神力と積極的な姿勢である。又学生生活の中で何を目標として、どうチャレンジし、何を掴んだかである。大学時代の成績だけでは、損保業界では通用しない。人を頼る気持ちもわかるが、何よりも大事な事は、物事にぶつかっていく気迫と勇気である。困難な時こそ、その人間の真価が問われる。

損保業界の仕組みについてはある程度は知っていると思うが、営業、損害調査、システム、業務、本部部門と、どの会社もこの様な部門に分かれている。この中で一番重要な部門が営業部門である。営業部門を中心に各部門が連携をとりあつて機能している。営業について、少々コメントしてみるのが、営業の一番の目標は、勿論売上げを伸ばす事である。それを成し遂げるために何をやるかである。そこで重要なのが、マネジメント能力である。一言でマネジメントと言うと非常に簡単であるが、これがなかなか大変である。自分でやれば一番早い、自分一人のできる事には限界がある。営業で一番大事な事は「人を動かす力」なのである。強力なリーダーシップと迅速な判断力が要求されてくる。

最後に、以前は社会に出てから身につければ良かった事が、採用の段階で求められてくる。これからの就職戦線で勝ち残り、社会で勝ち残るためには、気迫と勇気だけではなく、プラス豊富な情報力である事を良く知る事である。

ある証券営業マンの朝の風景

日興証券 土浦支店勤務

大志田 稔 (二期生)

一九九六年八月一日、午前六時、昨夜のオリンピックのTV放送の見すぎと深酒で頭が重い、朝のニュースで頭の整理も開始する。

昨日の東京外為市場の終り値、一〇七・一一一
一〇七・一四の水準を見たあとオーストラリアの
一〇・五%の利下げによりロンドン市場、ニューヨーク市場が一〇六円台で回つてくると、今日も七月二十三日にひきつづき一〇六円台の水準が実現するだろう。とすると、昨日のニューヨークダウの四十六ポイント高の五五二八ポイントで七月二十一日以来の五五〇〇台回復したことが東証でも株価の下げどまりの気分が出てもそれほどでもないかと思えてくる。景気停滞局面での利上げ観測が依然として根強いことから一気に株価が回復されるほど樂觀はできない状況である。外人投資家の七月以降から続いている利喰い売り裁定解

消の売り、銀行の株式供給過剰も売り要因となる。今日も頭の重い展開だろう。

午前七時三十分、会社に着くと各種業界紙、各部署からの資料のチェックをしつつ、株式部、債券部、情報部からの情報をとる。もうすでにハイライトの吸い殻は十本もたまっている。

午前八時、会議が始まる。株式、債券、投信、転換社債等の今日の打ち合せ、客先の確認等のうち八時三十分となる。

金融機関と債券の売上の打ち合せを始める。店内の在庫と客の意向から提案内容を調節していく。

八時五十分、大証オープン。やや弱い。

九時、東証オープン。やや弱い。債券マーケットはリバウンドしているが想定したレベルまで届いていない。あせりとともに前途多難の一日の朝がスタートしていく。

というような日々を送っているのです。毎日、マクロ、ミクロのニュースとつきつきり。頭の内は、自社商品の販売予算で満杯。新商品、新手法という資料でカバンはいっぱい。家に帰ればヒロウコンパイ。家に帰るまでに同僚と途中でカンパイ。こんな生活を送っている証券社員が全国に約十三万人程おります。

九十年以降、業界は苦勞しておりますが、今後存在意義は高まっていく方向であることはまちがいはないと思います。体力と精神力を生かしたい皆さん、トライしてみてください。

岩手大学在校生の皆様へ

さくら銀行 経営企画部

福田 美 幸 (二期生)

昭和五十七年三月に岩手大学卒業後早くも入行十五年目を迎えております。今回在校生の皆様には業界別に近況報告をする企画ということで銀行業界に身を置く一員として簡単に自己紹介をさせていただきます。

さくら銀行は、平成二年四月太陽神戸銀行と三井銀行が合併してできた銀行で私は太陽神戸銀行に入行いたしました。

簡単に経歴を紹介しますと、阿佐ヶ谷支店(杉並区) ↓ 高田馬場支店(新宿区) ↓ 銀座支店(中央区) ↓ 神田支店(千代田区) ↓ 本部/情報開発部(日比谷) ↓ 本部/業務開発部(ユーシーカード(株)に出向中)と営業店四カ店・本部勤務一回、そして現在出向中と転勤も五回となりました。ユーシーカード(株)は母体四行(第一勧業銀行・富士銀行・あさひ銀行・当行)が設立した銀行系クレジット会社で業界ではJCB・VISAに続く第三位の会社です。

現在の仕事は経営企画部に在籍しており、各行から一人配属され、母体銀行ならびに銀行クレジット会社(さくら銀行の場合はさくらカード(株))との調整、そして母体銀行間の総合調整など主業務にしております。また個別案件(プラン

ドイメーリアップ対策立案・増資計画・中長期計画・拠点網の見直し)など個別テーマを担当します。出向は初めての経験ですが、特に各行出向者・プロパー社員・母体銀行・母体クレジット会社など、人間関係に神経を磨減らす機会が多いような気が致します。今年六月に本社を世界都市博の中止で有名になった臨海副都心のお台場に移転し、毎日『ゆりかもめ』に乗って通勤しております。

最後に就職戦線は超氷河期状態で本当に厳しい環境ですが、岩大卒業生も各業界・各社で大変頑張っております。就職活動のポイントとして、在校生の方は三年生頃からどんな諸先輩を訪問、情報収集を重ねてください。少なくとも四年生には希望する業界・会社を絞り込み、四月と同時に会社訪問をスタートさせる体制にしませんと厳しいと思います。また他大学の学生と差別化を図る意味でも資格(ライセンス)の取得をお勧めします。例えば司法書士・税理士・中小企業診断士・会社保険労務士・宅地建物取扱主任者・行政書士など大学の講義以外に何かを学生時代に身に付けるということが重要です。当行もリストラの影響で若干名の採用枠しかなく、厳しい状態が続いております。逆に当社(UC社)はここ数年優秀な女子学生が採用できていますと人事部から聞いております。いずれにしても先手必勝でどんどん手を打ち、積極的に取り組みませんかとは道は開けないと思います。最後は自分の力だけが頼りです。学生時代の最後の締めくくりとして全力を傾け、この超氷河期を乗り越えて下さい。

評議員会報告

会長 佐原 和 典

平成八年度の評議員会は、七月六日（土）、岩手教育会館二階の第五会議室において開催されました。出席者は七名と少なかったのですが、大学側から就職委員長の細江先生も出席され、三時間にわたって、様々な内容を討議しました。

多くの時間をさいたのは、同窓会活動の活性化についてです。名簿のパソコンによる管理作業をとおして、少しずつ手伝ってくれる方が増えてはいますが、まだ充分とはいえません。

そこで、これからの卒業生に期待をこめて、交流会の開催や、会報の発行によって、同窓会の存在をアピールしていくことにしました。交流会は昨年度に引き続き、東京と盛岡の二カ所で開催し、これへの在校生の参加には、旅費等の補助を出すことにしました。さらに、しばらく発行されていなかった「七友会だより」を出すことにより、同窓生の仕事の様子などを紹介し、きびしいといわれる就職活動の手助けになればと考えています。

また、同窓会の体制についても話しあわれ、評議員の選び方や支部活動の強化などが、引き続き検討されることになりました。そこで、今回の役員改選にあわせて、関東支部からも副会長を出すことになり、これに伴う会則の変更は、同窓会開催の際に討議し、決定することにしました。

平成七年度同窓会活動 事業報告

平成七年度は、前年度からの持ち越しの会員データのパソコンの管理を始めました。平成八年三月末現在、十五期までの会員の住所等のデータを入力し、泉澤さん（八期卒）の管理の下、円滑に運用されています。

また、学生の就職活動への協力として、東京と盛岡の二カ所で「在校生との交流会」を開催しました。三年生を中心約四十名の在校生が参加し、就職活動の一助になったと思われます。この活動は今後も継続し、同窓生同士の異業種交流へとつなげていきたいと思っています。ただ、様々な活動の中心となるメンバーが少ないため、活動が遅れがちになっているのをいかに解消していくかが今後の課題です。

平成八年度同窓会活動 事業計画

今年度は、七年度からのパソコンによる会員データの管理をより充実したものにするとともに、在校生との交流会についても引き続き実施しながら、就職活動の一助とし、同窓会への理解を深めるものにならしたいと思います。

また、同窓会活動の改善については、評議員会や理事会のあり方も含めて検討するとともに、早急に改善できることは、今年度からでも実施したいと思っています。

役員改選について

今回の評議員会において役員に選ばれた方々は次のとおりです。任期は平成十年の評議員会開催日までとなります。

会長	佐原 和典	理事	及川 重彦
副会長	金澤 幸範		晴山 農
	夏井 正悟		八重樫 映
	塩田 勝美		渡辺 信
	（関東支部長）		杉本 浩
			馬場 雄一
			高橋 享孝
監査員	藤村 紀行		中野 玲子
会計	不在		
幹事	泉澤真結子		



東京での「親睦会」記念写真
（平成八年十一月十八日）
ホテルグランドパレスにて

平成7年度 岩手大学人文社会科学部同窓会会計決算書

1. 一般 会 計

1996.7.6 承認

(歳 入)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減	備 考
前 年 度 繰 越 金	3,086,572	3,086,572	0	普通預金, 定期預金
会 費	4,700,000	4,900,000	200,000	245 名×20,000円
雑 収 入	31,017	18,347	△12,670	利 息
計	7,817,589	8,004,919	187,330	

(歳 出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減	備 考
1. 事 業 費	4,480,000	2,108,585	2,371,415	
1) 会 報 発 行 関 係	1,600,000	0	1,600,000	
ア. 会 報 等 印 刷 費	800,000	0	800,000	
イ. 会 報 等 郵 送 費	800,000	0	800,000	
2) 会 員 活 動 援 助 費	1,600,000	1,029,854	570,146	同窓会 (東京・盛岡) 開催補助, 卒業証書入筒代
3) 卒 業 記 念 品 贈 呈 費	100,000	100,000	0	積立
4) 支 部 援 助 費	400,000	200,721	199,279	関東支部 (20万円), 送料
5) 文 化 事 業 補 助	250,000	261,680	△11,680	学術講演会補助等
6) 寄 付 金	500,000	500,000	0	学部への奨学寄附金 (10月)
7) 諸 費	30,000	16,330	13,670	退官記念品, 香典
2. 会 議 費	230,000	61,030	168,970	
1) 評 議 員 会 会 議 費	150,000	61,030	88,970	
2) 諸 会 議 費	80,000	0	80,000	
3. 事 務 費	800,000	723,021	76,979	パソコン購入 (423,021), 名簿入力等 (300,000)
4. 特 別 積 立 金	1,000,000	1,000,000	0	積 立
5. 雑 費	100,000	100,000	0	事務謝金
6. 学部設立20周年記念積立	500,000	500,000	0	積立
7. 同窓会設立20周年記念積立	500,000	500,000	0	積立
8. 予 備 費	207,589	0	207,589	
計	7,817,589	4,992,636	2,824,953	

平成7年度収支決算

歳 入 合 計	8,004,919円
歳 出 合 計	4,992,636円
差 引 残 高 (翌年度繰越)	3,012,283円 (2,128,476 + 883,807)

2. 特 別 会 計

(歳 入)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減	備 考
1. 前 年 度 末 積 立 金	23,761,189	23,761,189	0	
2. 新 規 積 立 金	2,100,000	2,100,000	0	学20周50万, 同20周50万, 卒業10万, 特別100万
3. 利 息	422,188	418,502	△3,686	
計	26,283,377	26,279,691	△3,686	

(歳 出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減	備 考
1. 積 立 金	26,283,377	26,279,691	△3,686	
1) 特 別 積 立 金	18,626,034	18,646,504	20,470	
2) 卒 業 記 念 積 立 金	1,824,800	1,811,647	△13,153	
3) 学部設立20周年記念積立	3,278,963	3,266,095	△12,868	
4) 同窓会設立20周年記念積立	2,553,580	2,555,445	1,865	
計	26,283,377	26,279,691	△3,686	

監 査 報 告

会則に従い、会計書類を監査の結果、適正に処理されていました。

平成8年7月3日 監査員 中 野 玲 子 ㊞

平成8年度 岩手大学人文社会科学部同窓会会計予算書

1. 一般会計

(歳入)

(単位 円)

科 目	予 算 額	備 考
前 年 度 繰 越 金	3,012,283	
会 費	4,700,000	235名×20,000円
雑 収 入	18,347	利息
計	7,730,630	

(歳出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	平成7年度予算額	備 考
1. 事業費	4,600,000	4,480,000	
1) 会報発行関係	1,600,000	1,600,000	
ア. 会報等印刷費	800,000	800,000	
イ. 会報等郵送費	800,000	800,000	
2) 会員活動援助費	1,600,000	1,600,000	卒業証書入筒代, 同窓会開催補助等
3) 卒業記念品贈呈費	100,000	100,000	積立
4) 支部援助費	500,000	400,000	各支部
5) 文化事業補助	250,000	250,000	学部交流関係他
6) 寄付金	500,000	500,000	人文社会科学部へ寄附
7) 諸費	50,000	30,000	慶弔費
2. 会議費	230,000	230,000	
1) 評議員会会議費	150,000	150,000	
2) 諸会議費	80,000	80,000	
3. 事務費	400,000	800,000	事務用品, パソコン管理他
4. 特別積立金	1,000,000	1,000,000	
5. 雑費	100,000	100,000	事務謝金
6. 学部設立20周年記念積立	500,000	500,000	
7. 同窓会設立20周年記念積立	500,000	500,000	
8. 予備費	400,630	207,589	
計	7,730,630	7,817,589	

2. 特別会計

(歳入)

(単位 円)

科 目	予 算 額	備 考
1. 前年度末積立金	26,279,691	
2. 新規積立金	2,100,000	卒業記念(10万), 特別積立(100万), 学部20周年(50万), 同窓会20周年(50万)
3. 利息	418,502	
計	28,798,193	

(歳出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	備 考
1. 積立金	28,798,193	
1) 特別積立金	19,961,871	特別積立(岩手銀行), 日興証券(チャンスC号)
2) 卒業記念積立金	1,938,316	
3) 学部設立20周年記念積立	3,808,865	
4) 同窓会設立20周年記念積立	3,089,141	
計	28,798,193	

親睦会開催のお知らせ

今年度も次の日程で、同窓生と在校生との交流を兼ねた親睦会の開催が計画されています。

昨年は、東京、盛岡の二ヶ所で約百五十名の方が参加していますが、まだまだきびしい就職状況への手助けとなるよう、多くの方の参加をお願いします。詳しくは、各地区の幹事の方へご連絡下さい。

関東地区 親睦会

・十一月二十三日(土) 午後三時～五時

・東京 お茶の水「ホテル聚楽」

会費 三三三(三三三) 七三二(代)

・会費 会員 八、五〇〇円

在校生 三、〇〇〇円(差額は同窓会補助)

・連絡先 山口 毅(関東支部事務局)

三〇三(三九八七) 一一七四

三〇三(三九八七) 一一五七

・参加の方は十一月十一日までにお知らせ下さい。

盛岡地区 親睦会

・平成九年一月二十五日(土) 午後二時～五時

・南部会館サザンパレス(盛岡市茶畑)

三〇一九(六五三) 五二二三

・会費 会員 五、〇〇〇円

在校生 三、〇〇〇円(差額は同窓会補助)

七友会ネットの開設にあたって

このたび七友会では、会員相互の親睦と交流を一層図るため、7月7日よりインターネット上にホームページを開設しました。七友会の活動の情報を中心に運営していく予定です。このホームページは人文社会科学部のホームページと相互にリンクしております。また、9月18日よりメーリングリストを開設し、電子メールを利用した「親睦会」を開催しています。

近年インターネットは、企業、家庭に急速に普及しておりますので、多くの会員が利用できると思いますし、ほとんどのパソコン通信からもインターネットへの接続が可能ですから、加入しているかたは、そちらを利用できると思います。メーリングリストだけでしたら、パソコン通信に加入していれば参加できます。

このホームページとメーリングリスト(総称して七友会ネット)が、会員間の親睦と交流、あるいは会員と在学生との交流に役立てれば幸いです。

七友会ネット管理者 菊地 良一(法学研究 昭和58年3月卒)

E-mail: kikuryou@rnac.or.jp

1. ホームページのURL(アドレス)は、次のとおりです。

<http://www.asahi-net.or.jp/~ZD8R-KKC/shichiyu.htm>

2. 七友会メーリングリストのご案内

A) メーリングリストとは

メーリングリスト(Mailing List)とは、電子メールを利用して、特定のメンバーの間で情報、話題を交換するシステムです。メーリングリストのアドレスに送られてきた電子メールは、リストの全メンバーに配信されます。パソコン通信のCUG(Closed Users Group:参加者限定の電子会議や電子掲示板)のようなものとお考えください。

B) メーリングリストに参加する

下記の内容のメールをmajordomo@ml.asahi-net.or.jpのメールアドレスに送ると自動登録されます。

「タイトル(subject)」は空欄のままです。(パソコン通信から送る場合は、「mlist」としてください)

subscribe shichiyukai

end

登録が完了すると、「Welcome to shichiyukai」というメールが送信されてきます。送信したアドレスが、自動的に登録されますので、複数のアドレスをお持ちの方はご注意ください。

C) メーリングリストにメールを送る

下のアドレスに送ってください。自動的に全メンバーに配信されます。

メールの送り先: shichiyukai@ml.asahi-net.or.jp

メーリングリスト参加登録時のアドレスと別ですので注意してください。

・連絡先 泉澤真結子(七友会事務担当)

三〇一九(六二六) 二二九〇(MEL)

三〇一九(六二九) 二六六五

又は、佐原 和典

三〇一九五(七四) 三九六二(自宅)

・詳しくは十二月頃に決めますので、参加できる方、お手伝いできる方の連絡をお待ちしています。

あとがき

久しぶりに会報を出すことができました。ホッとしています。次号には、住所不明の方の氏名一覧も加えたいと思っています。どうか、転居の際は同窓会へも御一報下さい。又、近いうちに出します。(佐原)